

# 香川ブロック 地域総合戦略

2017年 10月27日

公益社団法人日本青年会議所

2018年度 四国地区 香川ブロック

会長 西村 周子

## 目次

1	地域の現状	4
1.1	人口推移	4
1.2	人口変化の要因	5
1.3	GDPの状況	8
1.4	雇用の状況	8
1.5	産業の状況	11
1.6	インフラ整備の状況	11
1.7	その他の状況	12
2	目指すべき方向性	15
2.1	中長期的な方向性（400字程度）	15
2.2	1年間の方向性（400字程度）	15
3	基本理念	15
4	問題と課題の抽出	16
5	計画、実行、検証、改善の設定	16
5.1	目標① 地域ブランドの確立【地区連】	16
5.1.1	Plan（計画） 地域経済活性化 ・ 香川ブロック協議会HP・SNSで幅広く発信	16
5.1.2	Do（実行）	19
5.1.3	Check（検証）	19
5.1.4	Act（改善）	19
5.2	目標② スポーツ振興による強く前向きな心の醸成と地域間交流の促進	20
5.2.1	Plan（計画）⇒ JCカップU-11少年少女サッカー大会	20
	香川予選大会の実施【地区推】	20
5.2.2	Do（実行）	20
5.2.3	Check（検証）	21
5.2.4	Act（改善）	21

5.3 目標③ 香川共生社会の創造 .....	21
5.3.1 P l a n (計画) ⇒ 香川共生社会プロジェクト事業 .....	21
●目的 : ①スポーツ振興を通じて夢や希望を与える ②障害者スポーツへの理解・関心を高める 21	
5.3.2 D o (実行) .....	22
5.3.4 C h e c k (検証) .....	23
5.3.4 A c t (改善) .....	23
5.4 目標④ 国際的な視野を醸成し、世界平和へ寄与できるリーダーの育成 .....	23
5.4.1 P l a n (計画) ⇒ U N S D G s 啓発運動の実施 .....	23
○ U N S D G s の啓発運動の事業企画・実施 .....	23
5.4.2 D o (実行) .....	24
5.4.3 C h e c k (検証) .....	24
5.4.4 A c t (改善) .....	24
5.5 目標⑤ 人財育成による会員拡大支援 .....	24
5.5.1 P l a n (計画) ⇒ .....	24
会員の資質向上のためのセミナー・交流会（アカデミー事業）の実施による会員拡大支援 ...	24
5.5.2 D o (実行) .....	25
5.5.3 C h e c k (検証) .....	26
5.5.4 A c t (改善) .....	26
5.6 課題⑥ 各地会員会議所メンバーとの連携及び結束力の強化 .....	26
5.6.1 P l a n (計画) ⇒ 香川ブロック大会小豆島大会の実施 .....	26
5.6.2 D o (実行) .....	27
5.6.3 C h e c k (検証) .....	27
5.6.4 A c t (改善) .....	27
5.7 課題⑦ 災害支援ネットワークの強化 .....	28
5.7.1 P l a n (計画) ⇒ 災害支援ネットワークの強化 .....	28
5.7.2 D o (実行) .....	28

5.7.3	C h e c k (検証)	29
5.7.4	A c t (改善)	29
5.8	課題⑧ 政治参画教育の推進・公開討論会の実施	29
5.8.1	P l a n (計画) ⇒	29
5.8.2	D o (実行)	30
5.8.3	C h e c k (検証)	31
5.8.4	A c t (改善)	31
6	アクションプラン	31
6.1	ブロック協議会の目標達成に向けた行動計画	31

# 1 地域の現状

## 1.1 人口推移

### 【香川県の人口】

(参考)

[http://www.pref.kagawa.lg.jp/shoko/senryaku/siryoku01/kondankai\\_1\\_3\\_2.pdf#search=%27%E9%A6%99%E5%B7%9D%E7%9C%8C+GDP%E4%BA%88%E6%B8%AC%27](http://www.pref.kagawa.lg.jp/shoko/senryaku/siryoku01/kondankai_1_3_2.pdf#search=%27%E9%A6%99%E5%B7%9D%E7%9C%8C+GDP%E4%BA%88%E6%B8%AC%27)

平成11（1999）年の約103万人をピーク

平成12（2000）年以来、15年連続の減少。人口減少社会へ突入。

平成47（2035）年、約80万2000人 推測（現在の役2割減↓）人口オーナス状態へ。

平成52（2040）年の香川県の総人口は77万人程度にまで減少予測。

減少スピードは加速度的に高まる見込。

- ・ 年少人口は、今後も減少し、平成52（2040）年には8万人を割り込むと予測。
- ・ 生産年齢人口は、今後も減少し、平成52（2040）年には40万人程度にまで減少すると予測。

- ・ 老年人口は、平成27（2015）年から平成52（2040）年までの間は、30万人前後で推移予測。
- ・ 平成72（2060）年には、74万人程度まで減少推移予測し、長期的には60万人台前後の推移。

【香川県人口動態の推移】（S60年～H25年）

⇒ <http://www.pref.kagawa.lg.jp/seisaku/zinkoukatsuryoku/taisakuhonbuH26-1-shiryou1.pdf>

○社会増減：H4年～H11年は社会増であったが、H12年以降は再び社会減

○自然増減：H15年から自然減に転じ、減少幅が年々拡大

【人口（全国、香川県）の推移と将来推計】

<http://www.pref.kagawa.lg.jp/seisaku/zinkoukatsuryoku/shiryou-zinkousuikei.pdf#search=%27%E9%A6%99%E5%B7%9D%E7%9C%8C%E4%BA%BA%E5%8F%A3%E5%8B%95%E6%85%8B%E6%8E%A8%E7%A7%BB+%E6%9C%AA%E6%9D%A5%27>

## 1.2 人口変化の要因

---

香川県における人口の現状は、平成26年（2014）の人口は、98万人。平成12年以来15年連続減少となり、老年人口に比べて年少人口が少ないいびつな人口構造となっている。

人口変化の要因として、出生数の減少、晩婚化（男女含む）、晩産化の進行、生涯未婚率の上昇と全国平均を上回る3大生活習慣病、糖尿病による死亡率による自然増減と、進学や就職に伴う若者の県外転出による社会増減によります。

○出生率：1.63%（全国平均：1.4%）

## 年齢別人口構造（1985－2040）香川県



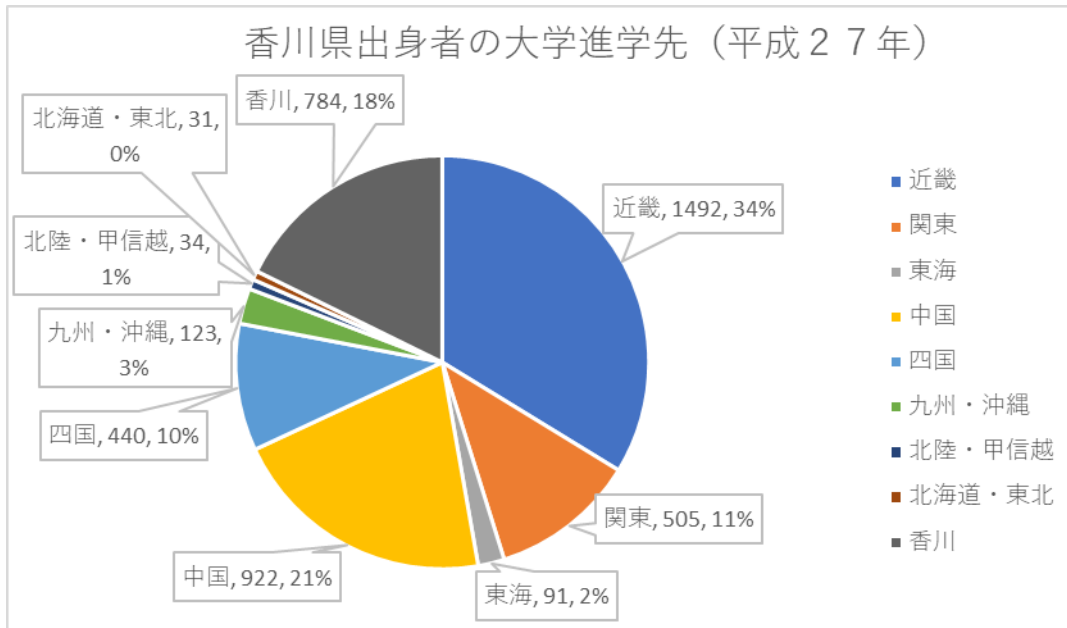
(参考) かがわ人口ビジョン骨子案

<http://www.pref.kagawa.lg.jp/seisaku/zinkoukatsuryoku/taisakuhonbuH27-3-shiryou2.pdf#search=%27%E9%A6%99%E5%B7%9D%E4%BA%BA%E5%8F%A3%E3%83%93%E3%82%B8%E3%83%A7%E3%83%B3+%E9%AA%A8%E5%AD%90%27>

### ○香川県出身者（高校生）の大学進学先

⇒平成27年度の香川県の大学進学者4,422人のうち、3,638人・82.3%が県外に進学。

⇒県外のうち、近畿地方が1,492人・33.7%と最も多く、三大都市圏で約5割。



○香川県内の大学生の就職先状況

⇒県内大学からの県内就職は、43.9%

●県内出身者592人のうち 県内就職467人（78.9%） 県外就職125人（21.1%）

県外出身者919人のうち 県内就職197人（21.4%） 県外就職722人（78.6%）

⇒県内出身者の約79%は県内に就職

⇒県外出身者の約79%は県外に就職

○香川県 観光交流人口推移

⇒2016年 観光交流人口 619万人 内、台湾からの訪日人数：429万人

(+13%増前年比) ※2016年観光サミット会議の目標人数を達成

⇒2020年 交流人口目標人数：700万人達成目標（日本・台湾双方訪問含む）

※「日台観光サミット会議にて意見交換実施（2017年6月3日開催）

※日台双方は全力で700万人の交流人口を達成させ、安定的に観光事業を健全で持続的に発展させるためにアウトバウンドにもさらに力を入れ、インバウンドと等しく成長していくことが欠かせないとする

■香川県の人口減少・活力向上対策

⇒今後の取組み

- 人口減少抑制戦略 : ①人の流れを変える ⇒ 移住・定住の促進 ・地域の魅力発信  
②安心して暮らしやすい環境を創る ⇒ 誰もが輝く香川の実現  
産業振興による雇用確保
- 人口減少社会適応戦略 : ①地域の元気を創る ⇒ 魅力ある地域づくり・交流人口拡大  
②都市・集落機能を高める ⇒ 地域間ネットワークの強化

参考：P 10 香川県人口減少・活力向上対策本部資料

<http://www.pref.kagawa.lg.jp/seisaku/zinkoukatsuryoku/taisakuhonbuH26-1-shiryoushu1.pdf>

## 1.3 GDPの状況

---

○香川県内総生産（県内GDP）

全国36位 県内総生産 3,647,003（百万円）

第1次産業（1.2%）第2次産業（24.4%）第3次産業（74.5%）

県内総生産（名目）は全国36位

海面漁業・養殖業生産額は全国24位

（参考：内閣府「各県の県民経済計算」

<http://www.esri.cao.go.jp/jp/sna/sonota/kenmin/todouhukensi/todouhukensi.html>）

## 1.4 雇用の状況

---

■産業別雇用の状況（地域の現状と首都圏及び全国平均）

○求人動向（新規求人数8,900人（前年同月比1.5%増加）

↑ 製造業（2.1%） ↑ 情報通信業（72.1%増） ↑ 運輸業・郵便業（8.7%増）

↑ 宿泊業、飲食サービス業（12.5%増） ↑ 生活関連サービス・娯楽業（14.3%増）

↑ 医療・福祉（12.1%増）



↓ 建設業（８．５％減）    ↓卸売業・小売業（１１．３％減）    ↓サービス業（１０．９減）

（参考）香川県・労働市場の動向（平成２９年５月）

<http://kagawa-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp/var/rev0/0111/7902/2017627175049.pdf>

#### 【平成２９年５月新規雇用状況】

○ 新規求人(原数値)は、８，９００人（前年同月比 １．５％増） ２か月連続で増加

↑増加した主な産業は、医療、福祉、宿泊業、飲食サービス業

↓減少した主な産業は、卸売業、小売業、サービス業

（参考）香川県・労働市場の動向（平成２９年５月）

<http://kagawa-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp/var/rev0/0111/7902/2017627175049.pdf>

#### ■男女別雇用の状況（地域の現状と首都圏及び全国平均）

⇒雇用者の職業別構成比は、全国比較すると、男性は、保安職業が割合として高く、女性は、専門的・技術的職業・事務・サービス職業の割合が高い。（総務省「就業構造基本調査」）

⇒女性労働者の平均年齢の推移に関しては、年々全国女性の年齢が上がるとともに香川の女性労働者の平均年齢も微増している。

⇒女性労働者の平均勤続年数の推移は、現在平均１０年前後を推移しているが、今後も持続的  
女性雇用の発展に向けて、長期雇用・再雇用・積極的雇用の発展が期待される

⇒男女の正規職員・従業員とパート・アルバイト比率は、香川県女性の比率は、半々であり  
今後の女性の正規雇用の促進が期待される。香川男性は、８割強は正規雇用の割合となっ  
ている。（平成２２年国勢調査）

⇒パート・アルバイト労働者数及び雇用者数に占める割合の推移は、女性が年々着実に増えてお  
り、男性比率も少しずつ全体の割合から見ると微増している

（参考）統計データからみる香川県の女性労働者等の実情（平成２４年度データ）

<http://kagawa-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp/library/kagawa-roudoukyoku/KIKAKU/kinntoude-ta.pdf#search=%27%E9%A6%99%E5%B7%9D%E7%9C%8C+%E7%94%B7%E5%A5%B3%E5%88%A5%E9%9B%87%E7%94%A8%E7%8A%B6%E6%B3%81%27>

■実質賃金の状況（地域の現状と首都圏及び全国平均）

（参考）香川の賃金、労働時間及び雇用の動き

<http://www.pref.kagawa.lg.jp/toukei/rodo/maikin/monthly/w201706.pdf>

■平均所得の状況（地域の現状と首都圏及び全国平均）

2016年 香川県 405万円（全国平均：454万円） 全国第25位

1世帯当たりの預貯金残高 全国3位

<https://resas.go.jp/municipality-wages/#/graph/37/37201/2016/-/1/0/5.333900736553437/41.42090017812787/142.29371418128917>

■失業率の状況（地域の現状と首都圏及び全国平均）

香川県の完全失業率 6.257%（全国：第27位）

東京都：5.87%（全国：第33位） 大阪府：7.974%（全国：第3位）

香川県：完全失業者数：30,867人 労働力人口：493,285人

■有効求人倍率の状況（地域の現状と首都圏及び全国平均）

2016年5月情報 香川県：1.37倍（全国平均：1.11倍）

有効求人倍率順位：香川県 全国第5位

2017年5月情報 香川県：1.77倍（全国平均：1.49倍）

有効求人倍率順位：香川県 全国第7位

※雇用情勢：改善が進んでいる状態

※有効求人数においては、介護・小売・調理・医療が高い。

（参考）RESAS 香川県雇用情報

<https://resas.go.jp/municipality-job/#/graph/37/37201/2016/5/-/1/0/5.333900736553437/41.42090017812787/142.29371418128917>

（参考）【平成29年5月雇用情勢】厚生労働省資料

<http://kagawa-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp/var/rev0/0111/7901/2017627174951.pdf>

## 1.5 産業の状況

---

香川県には、建設機械関連、造船関連、自動車部品関連、電気機械関連などの分野で国内トップクラスの企業が中核的企業として存在しており、それらを中心に、金属加工、金型、溶接等の高度な基盤技術を持つ協力企業が多数集積しています。また、臨海部の工業用地を中心に、化学、石油、石炭、非鉄金属などの基礎素材系の大規模工場が立地しています。加えて、食料品関連産業の歴史は古く、長期に渡り蓄積された発酵技術や品質・鮮度保持技術等は産学ともにトップレベルとされ、冷凍食品や調味料などの食料品関連の企業が県下一円に多数集積しています。

(工業製品出荷額全国ランキング)

全国1位：和風めん

全国1位：冷凍調理食品

全国1位：衣服用ニット手袋

全国1位：スポーツ用革手袋

全国1位：鉄製金網

全国1位：うちわ、扇子

全国2位：建設用クレーン

全国3位：石工品（庵治石）

全国4位：なめし革製ハンドバック

全国4位：鋼製貨物船の新造

(参考：経済産業省「香川県の地域経済分析 経済産業省」

[http://www.meti.go.jp/policy/local\\_economy/bunnseki/47bunseki/37kagawa.pdf](http://www.meti.go.jp/policy/local_economy/bunnseki/47bunseki/37kagawa.pdf))

## 1.6 インフラ整備の状況

---

(香川県インフラ整備の強み)

○陸路：四国横断自動車道（高松自動車道）の全線開通。瀬戸大橋・明石海峡大橋による

本四連絡橋の開通による高速交通体系が完備。また阿南四万十線（鳴門IC～高松市境）

の4車線化による交通安全の向上、渋滞の解消、観光・流通における利便性の向上。

県内道路舗装率：全国3位。県内道路密度 全国4位

○空路：高松空港から東京（羽田便）1日13往復。東京（成田便）1日2往復。

海外では、ソウル・上海・香港・台北との定期直行便就航により観光交流人口が増大。

外国人入出国空港分析では、訪日外国人の入手国ルート（空港）は、

関西空港—関西空港：14,849人（26.58%）

高松空港—高松空港：12,784人（22.89%）と占めている。

航空機（羽田線）～利用者数5か月連続で前年同月を上回る～

⇒高松空港の現状（29年2月速報）利用者数97,870人 前年同月比で0.6%増加

※参考 那覇便 利用者数7,762人 前年同月比で11.1%増加

ソウル便 利用者数5,923人 前年同月比で67.6%増加

上海便 利用者数6,203人 前年同月比で20.8%増加

台北便 利用者数3,998人 前年同月比で5.4%増加

○海路：古くは塩飽水軍の本拠地であった香川県。海上輸送の要衝として各地に港湾が完備され、貿易港として、高松・坂出・丸亀・詫間の4つの港があり、高松港は「四国の玄関港」として、上海港、青島港、大連港、釜山港との間に国際コンテナ定期便が就航

また、瀬戸内海に点在する多島美へは、フェリーにて役1時間で行くことができる

○鉄道：山陽新幹線岡山駅から瀬戸大橋線の快速や特急で高松駅まで約1時間

## 1.7 その他の状況

### ■香川県選挙

参考：香川県選挙管理委員会 <http://www.pref.kagawa.jp/senkyoi/>

○首長の任期満了日

- |          |       |    |     |       |       |
|----------|-------|----|-----|-------|-------|
| ・香川県 県知事 | 平成30年 | 9月 | 4日  |       |       |
| ・善通寺市 市長 | 平成30年 | 5月 | 9日  |       |       |
| ・さぬき市 市長 | 平成30年 | 5月 | 11日 |       |       |
| ・三豊市 市長  | 平成30年 | 2月 | 11日 | 三豊市議員 | 2月11日 |

- ・土庄町 町長 平成30年 1月21日
- ・小豆島町 町長 平成30年 4月22日
- ・三木町 町長 平成30年10月22日 三木町議員 4月22日
- ・直島町 町長 平成30年 5月17日
- ・宇多津町 町長 平成30年10月19日
- ・綾川町 町長 平成30年 4月22日 綾川町議員 4月22日
- ・琴平町 町長 平成30年 5月31日
- ・まんのう町 町長 平成30年 4月22日 まんのう町議員 4月22日

○衆議院議員総選挙 平成30年12月13日

選挙の予定…… 平成30年11月13日

※但し、解散による総選挙の場合は、解散の日から40日以内に行われる

## ■香川県MICE誘致推進

平成28年度 香川県MICE誘致推進協議会設立総会が開催され、「香川県MICE誘致推進方策」を踏まえ、官民一体となってMICE誘致を推進しています。平成28年には、高松市にて主要7か国（G7）情報通信相会合が開かれ、四国初のG7閣僚会合が開催され、これを契機に今後の更なる交流人口による地域活性化へつなげ、香川県がもつ魅力的なユニークベニユーを生かしたMICEを推進することにより国際・国内相互の人や情報の流通、ネットワークの構築、集客力は、ビジネスや研究環境・観光資源の向上に繋がり、官民・県民一体となって香川県の活性化を目指します。

（参考）香川県MICE誘致推進方策

[http://www.pref.kagawa.lg.jp/content/etc/web/upfiles/wvekqw160329130602\\_f04.pdf#search=%27%E9%A6%99%E5%B7%9DMICE%27](http://www.pref.kagawa.lg.jp/content/etc/web/upfiles/wvekqw160329130602_f04.pdf#search=%27%E9%A6%99%E5%B7%9DMICE%27)

（参考）香川県HP・香川の魅力（香川MICE情報）

<http://g7-meeting-takamatsu.kagawa.jp/ja/appeal.html>

## ■生涯福祉について

○高齢者の人口推移と予想

平成37年には高齢者の5人に1人が認知症患者になる予想（厚生労働省の推計）

急速に高齢化が進み、2050年には、1人の若者が1人の高齢者を支えるという厳しい社会の到来が予想されています。

参考：2ページ

[http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/hukushi\\_kaigo/kaigo\\_koureisha/chiiki-houkatsu/dl/link1-1.pdf#search=%27%E5%8E%9A%E7%94%9F%E5%8A%B4%E5%83%8D%E7%9C%81+%E6%8E%A8%E8%A8%88+%E9%AB%98%E9%BD%A2%E8%80%85+%E8%AA%8D%E7%9F%A5+%E7%9C%8C%E5%88%A5%27](http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/kaigo_koureisha/chiiki-houkatsu/dl/link1-1.pdf#search=%27%E5%8E%9A%E7%94%9F%E5%8A%B4%E5%83%8D%E7%9C%81+%E6%8E%A8%E8%A8%88+%E9%AB%98%E9%BD%A2%E8%80%85+%E8%AA%8D%E7%9F%A5+%E7%9C%8C%E5%88%A5%27)

⇒三豊市の取り組み（生涯福祉への取組）

三豊市の高齢化率は33.1%（国の高齢化率：25.6%）国の高齢化率を上回る地域で、福祉・医療・健康の充実を掲げ、高齢者に対し市内スポーツ施設と協働でスポーツ総合型「運動・栄養・睡眠」プログラムを実施し、認知機能低下の予防・つながりを広げる・健康寿命延伸を支援している。

#### ○障害者の全体的状況

身体障害、知的障害、精神障害の3区分で障害者数の概数をみると、身体障害者392万2千人、知的障害者74万1千人、精神障害者392万4千人。

人口千人当たりの人数で見ると、身体障害者は31人、知的障害者は6人、精神障害者は31人。複数の障害を併せ持つ者もいるため、単純な合計にはならないものの、国民の約6.7%が何らかの障害を有している。

参考：<http://www8.cao.go.jp/shougai/whitepaper/h29hakusho/zenbun/pdf/ref2.pdf>

#### ■災害支援ネットワーク強化について

2017年5月27日、香川ブロック協議会と災害時相互協力協定締結式を行い、香川県社会福祉協議会との更なる連携を深めると共に、災害時の組織体制及び行動計画をブロック協議会内及び締結先との連携方法を明確化することにより、緊急時の災害対策の支援ネットワークの強化を図り、各地会員会議所理事長との連携を図ります。

参考：「JC香川ブロック災害支援ネットワーク総合資料集」2015年作成版

## 2 目指すべき方向性

### 2.1 中長期的な方向性

今後の中長期の人口動向分析による人口の将来展望をしっかりと分析し、誰もが笑顔で暮らせる安全・安心の香川の創造のために、人口減少社会に対応した戦略（①人口の流れを変える人口減少抑制戦略、②魅力ある地域づくり、③地域拠点とネットワークの強化による集約型都市構造（コンパクトシティ）の推進）を立て、人口減少の克服や地域力の向上の実現に向けて、PDCAサイクルを確立と認識の共有を行うことにより、香川の強み・特性を生かした持続可能な地域社会の創造へと繋げています。私たちは、香川の魅力・地域資源の強みを生かし、人口の流れを変える観光交流人口の増加や産業振興による雇用確保、地域間ネットワーク・交流を高めることにより誰もが暮らしやすい環境の実現を目指します。

### 2.2 1年間の方向性

まず、地域社会が抱える課題に対し、数値的根拠を含めた根拠に基づいて、産官学をはじめ地域の人々や若者との連携を密にすることにより、共に将来の香川を描き、課題解決に向けて地域産業・経済の活性化による雇用拡大・人口減少に歯止めをかけます。地域の魅力を地域ブランドとして確立させるために、1年間ではなく中長期の戦略をもって、観光資源を活かした魅力を国内外へ発信し、地元企業と連携した県産品の販路拡大を目指し、生産性向上と消費の増加に繋げて参ります。

そして、自らの地域の将来を地域の市民とともに、政治教育を通し、自ら考え行動できる主権者意識を確立し、また、道徳教育を通して国・地域の将来を共に描き、公に誠を尽くすことができる人となります。笑顔溢れる安全・安心な香川を創るために、災害発生時に備えて、迅速かつ的確な災害支援ネットワークの確立のため、常日頃から地域コミュニティ組織や社会福祉協議会・民間事業者と行政との広域相互支援体制を構築することで自主的な防災意識の向上を高め、防災減災体制を協会します。さらに、香川ブロック協議会の更なる交流を図り、結束力を強化し、メンバーの資質向上のために、香川ブロック大会を開催し、会員相互の強固な繋がりと青年会議所活動に対する意識を高めたメンバー其々が地域社会の発展のために能動的に行動できるリーダーとなります。最後に1年を通して「和」の精神性をもった我々が自らの未来を自分たちの手で切り開く高い志を立て覚悟をもってあらゆることに挑戦し続けることで、愛と希望溢れる香川の創造へ繋がります。

## 3 基本理念

挑戦 と「和」の精神による

愛と希望溢れる香川の創造



## 4 問題と課題の抽出

問題① 香川の人口減少（労働者人口）による地域経済の縮小

課題① 地元経済団体・企業と連携して雇用を創出し、移住やU J I ターンを促進

若者が安心して子供を産み、育てる子育て香川県の促進

問題② 地域経済の持続的な活性化

課題② 産業（観光も含めた）活性化に向けた産業の育成や販路開拓・消費拡大への取り組み

M I C Eの推進による国際・国内相互の人や情報の流通、ネットワークの構築、集客カビジネスや研究環境・観光資源の向上

うどん県だけでなく、香川の魅力・地域資源を高め、国内外からの観光交流人口の促進

豊かな資源を活かした地域ブランドの確立

問題③ 障がい者への理解や関心の低下

課題③ 障がい者スポーツ振興の活性化・障害者スポーツ振興による交流

ユニバーサルマナー意識の向上・道路標示・一般施設やソフト・ハード面での改善

スポーツ振興による地域間交流の向上

問題④ 大人・若者の政治・選挙への無関心・政治及び社会参画の低下

課題④ 国家・政治の成り立ちから学び、主権者としての社会参画意識の確立

問題⑤ 災害に強いまちづくりに向けた防災・減災に対する意識の向上

課題⑤ 災害発災時における広域相互支援体制の構築による防災・減災対策の強化

## 5 計画、実行、検証、改善の設定

### 5.1 目標① 地域ブランドの確立【地区連】

5.1.1 P l a n（計画） 地域経済活性化 ・ 香川ブロック協議会HP・SNSで幅広く発信  
香川の地域経済を活性化させるために地域景観や観光資源・地域の魅力を活かした観光プロモーションをJ C Iのネットワークを活かして広く発信させる。



※地域景観及び観光資源の発信による交流人口の増大による経済効果

(参考) <https://www.youtube.com/watch?v=itWhSArETEQ>

※地域の魅力発信（移住PR）による移住・定住人口増加による経済効果

(参考) かがわ暮らし <https://www.kagawalife.jp/>

宇多津町移住PR [https://www.youtube.com/watch?v=ZG\\_KuHbwm2A](https://www.youtube.com/watch?v=ZG_KuHbwm2A)

善通寺市移住PR <https://www.youtube.com/watch?v=U5iKg6oTjWI>

琴平町移住PR [https://www.youtube.com/watch?v=S7zAP\\_378V4](https://www.youtube.com/watch?v=S7zAP_378V4)

※香川県離島振興計画 [https://www.city.takamatsu.kagawa.jp/file/21367\\_L23\\_keikaku.pdf](https://www.city.takamatsu.kagawa.jp/file/21367_L23_keikaku.pdf)

(香川ブロック協議会 地域活性化に関わる過去事業の地域の魅力発信)

※しまこと小豆島（2016年度） [https://www.youtube.com/watch?v=dx\\_6CfmFNQo](https://www.youtube.com/watch?v=dx_6CfmFNQo)

※さぬきうどん（2017年度）

<http://www.jaycee.or.jp/2017/shikoku/kagawa/?info=%e9%a6%99%e5%b7%9d%e3%83%96%e3%83%ad%e3%83%83%e3%82%af%e5%a4%a7%e4%bc%9a%e8%a8%98%e5%bf%b5%e4%ba%8b%e6%a5%ad%e3%81%ae%e3%81%86%e3%81%a9%e3%82%93%e5%95%86%e5%93%81%e5%8c%96%e8%a9%a6%e9%a3%9f%e4%bc%9a>

香川の観光資源・産業・食文化等魅力ある地域資源を活かした地域経済の活性化を図ります。2017年度に実施した県産品をイノベーションした斬新な事業モデル構築の検証を図りながら、引き続き地域の若者とともに地域資源の持続的な発展を図るために、香川ブロック協議会がプラットフォームになり地域間連携を密としたプロモーションを行うことにより地域ブランドの価値化を実現します。

●香川ブロック協議会の充実したホームページ作成とFBによる事業の発信と地域の魅力発信

(参考)

香川ブロック協議会 HP運営について(案)

○基本資料

参考：<http://bloc.tokyo/%e5%9f%ba%e6%9c%ac%e8%b3%87%e6%96%99/>

参考：<http://www.jaycee.or.jp/2017/kinki/wakayama/>

○事業案内

参考：<https://hokkaidojc.com/>

○各委員会紹介

・所信・写真掲示

○会員拡大セミナー案内

参考：[http://www.jaycee.or.jp/2017/kanto/chiba/?page\\_id=849](http://www.jaycee.or.jp/2017/kanto/chiba/?page_id=849)

○公開討論会 案内

参考：[http://www.jaycee.or.jp/2017/kanto/chiba/?page\\_id=849](http://www.jaycee.or.jp/2017/kanto/chiba/?page_id=849)

○6 L O M 理事長の写真・所信のリンク

参考：<http://www.jaycee.or.jp/2017/kanto/saitama/?cat=34>

○会員拡大パンフレットの掲示

⇒香川ブロックの拡大パンフレット

⇒香川ブロック会員資質向上セミナー&異業種交流会開催案内・報告

○地域の魅力発信

⇒観光スポット ⇒移住 PRyoutube リンク

⇒特産品・ご当地グルメ ⇒

⇒J Cメンバーの一押し

⇒過去のブロック事業（地域魅力発信関係）の発信継続

○事業報告

参考：[http://www.jaycee.or.jp/2017/kanto/saitama/?page\\_id=564](http://www.jaycee.or.jp/2017/kanto/saitama/?page_id=564)

⇒日本 J C 理事会報告・ブロック会長報告（ブロック会長まとめ文メッセージを掲示）

⇒事業報告

⇒メンバーによるブログ

○災害対策連携体制図 リンク

※J C香川ブロック災害支援ネットワーク総合資料集 リンク

※災害締結文のデータ表示

⇒ブロック協議会内で順番にブログ担当。

○相互リンク

香川県・各市町村・各 L O M ・日本 J C ・四国地区・各ブロック協議会（愛媛・高知・徳島）

各関係諸団体

○ U N S D G s バナー

U N S D G s の啓発ブログ

○ 障害者スポーツの啓発

○ 政治教育の勉強会実施の実施

⇒ スケジュール

2017年10月～2018年1月：本年度との引継ぎ・事業構想計画立案

2018年 2月（討議）・3月（協議）・4月（審議）5月（案内・事業PR）

6月・7月・8月・9月（実施開催）・10月（事業検証・報告・決算）

○ 協力企業・団体数

○ K P I 現在値： 2017年度事業検証中（5件）

○ K P I 目標値： （10件）

### 5.1.2 D o（実行）

○ 事業推進体制

⇒ 事業計画・実施：香川ブロック協議会

⇒ 事業連携・推進：香川県・各市町村・商工会・商工会議所・大学・高校・一般企業等

⇒ 参加対象者：一般参加者

### 5.1.3 C h e c k（検証）

⇒ HP及びSNSの閲覧数の検証（毎月検証し、会員会議所の報告依頼事項で報告）

⇒（一社）移住・交流推進機構との連携による情報収集・検証

（参考）一般社団法人移住・交流推進機構 <https://www.iju-join.jp/feature/file/017/>

（参考）香川県地域の魅力 <https://www.iju-join.jp/prefecturepages/kagawa>

⇒ かがわ移住ポータルサイト（かがわ暮らし）との連携による情報収集・検証

（参考）かがわ移住ポータルサイト <https://www.kagawalife.jp/>

⇒ 三豊市移住支援サイト <http://www.mitoyo-kurashitecho.com/ijushien/>

### 5.1.4 A c t（改善）

⇒ 検証した点を報告書としてまとめ、事業計画審議後からの行動計画を明細に明記し、それに付随する資料を添付し、事業案内・事業PR・事業準備・事業予算・事業写真・進行関係資料を全て報告書としてまとめ、更なる発展に繋げるために、関係者・各方面からの評価を頂きます。

## 5.2 目標② スポーツ振興による強く前向きな心の醸成と地域間交流の促進

---

### 5.2.1 Plan（計画）⇒ J CカップU-11 少年少女サッカー大会

#### 香川予選大会の実施【地区推】

○ J CカップU-11 少年少女サッカー大会事業の企画・実施

2017年10月～12月：本年度との引継ぎ・事業構想計画立案

2018年 3月（協議）・4月（審議）5月（案内・事業PR）

6月（案内・事業PR・出欠確認・事業準備）

7月（実施開催）・8月（事業御礼・決算・検証）・10月（事業報告・決算）

○ KPI（参加チーム数）

⇒ 2016年：24チーム ⇒ 2017年：24チーム

⇒ 2018年：24チーム ※香川県内全チームの1年間の勝利獲得ポイントの上位24チーム  
が参加可能。

○ J Cカップを通して、グッドルーザーの精神を学ぶ子供たちを増やす。

○ 香川ブロック協議会HPにてJ Cカップ・グッドルーザーの精神について幅広く周知する。

⇒ 2月のHPにJ Cカップ・グッドルーザーの精神について発信（事業報告・12月迄）

（参考）<https://www.youtube.com/watch?v=WG9lapNcwAo>

### 5.2.2 Do（実行）

○ 2017年度のJ Cカップ香川予選大会の引継ぎをしっかりと行う。

○ J Cカップ・グッドルーザーの精神とは何なのかをHP・SNSを活用し、幅広く周知する。

（参考）<https://www.youtube.com/watch?v=5eQoOMVpkhI>

○ 事業推進体制

⇒ 事業計画・実施：香川ブロック協議会

⇒ 参加対象・推進：瀬戸大橋記念公園カップと共同開催

⇒ 事業連携：四国地区協議会、（一社）香川県サッカー協会

⇒ 参加対象者：県内サッカーチーム24チーム（U-11以下の男女）

### 5.2.3 Check (検証)

⇒事業計画後、事業連携者の（一社）香川県サッカー協会の方とどのような連絡調整を行ったか

検証する。●事業の案内 ●参加サッカーチームとの連絡調整 ●設営側の関係者との連携

●事業準備に関して。●点について詳細を検証する。

⇒実施した事業が地域及びブロック協議会メンバーにとって有益なものであったのか、アンケート実施により事業の成果の検証を行う。

⇒参加サッカーチーム・保護者・関係者・JCメンバーにアンケート調査し、目的達成の検証

### 5.2.4 Act (改善)

⇒検証した点を報告書としてまとめ、事業計画審議後からの行動計画を明細に明記し、それに付随する資料を添付し、事業案内・事業PR・事業準備・事業予算・事業写真・進行関係資料を全て報告書としてまとめ、誰もが次に繋げられるような事業報告書を作成する。

## 5.3 目標③ 香川共生社会の創造

---

### 5.3.1 Plan (計画) ⇒ 香川共生社会プロジェクト事業

●目的：①スポーツ振興を通じて夢や希望を与える ②障害者スポーツへの理解・関心を高める

⇒障害者とともにスポーツを通じて日本パラリンピック陸上競技大会を市民とともに盛り上げる

⇒「障害者スポーツ体験・交流会」を開催

○対象者：県内小・中学生・一般参加者

○事業候補・連携先：「第29回日本パラ陸上競技選手権大会」の開催（高松市）

平成30年9月1日・2日に開催

※日本パラ陸上競技選手権大会は、国内トップクラスの選手が集う大会で、競技結果が国際ランキングにも反映されるということもあり、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の機運を高めるとともに、事前合宿の誘致や障害者のスポーツ人口の増大と競技力向上に期待ができる。

○事業スケジュール

2017年10月～2018年2月：事業構想計画立案 1月：ユニバーサルマナー検定受講

2018年 3月（討議）・4月（協議）5月（審議）

6月・7月（案内・事業PR・出欠確認・事業準備・プレスリリース）

8月～9月（実施開催） ・10月（事業報告・決算）

○KPI（参加人数）

⇒2017年：なし

⇒2018年：一般参加者：100名＋香川ブロック協議会メンバー100名

○行政・障害者及び障害者支援団体・県内プロスポーツ団体との事業協力・共催開催

○香川ブロック協議会HP・SNSにて事業を幅広く案内

⇒事業後援団体・協力団体・行政・メディア関係にも幅広く案内周知

### 5.3.2D○（実行）

○ユニバーサルマナーについての勉強会を開催し、心づかいを地域のすべての人へ届けることで、すべての人に開かれたまちを創造することへと繋げる。

※平成30年1月 ユニバーサルマナー検定講習受講実施

※ユニバーサルマナーとは：高齢者や障害者、ベビーカー利用者、外国人など、多様な方々を街で見かける現代。私たちにとって“自分とは違う誰かの視点に立ち、行動すること”は、特別な知識ではなく「こころづかい」の一つです。多様な方々に向き合うためのマインドとアクション。

（参考）日本人は障害者スポーツへの関心が低い <http://trapro.jp/articles/479>

（参考）ユニバーサルマナー教育が地方創生の起爆剤となる

[http://www.jt-tsushin.jp/interview/jt04\\_mirairo/](http://www.jt-tsushin.jp/interview/jt04_mirairo/)

（参考）共生社会実現の重要性

[http://www8.cao.go.jp/shougai/whitepaper/h29hakusho/gaiyou/pdf/s1\\_1.pdf](http://www8.cao.go.jp/shougai/whitepaper/h29hakusho/gaiyou/pdf/s1_1.pdf)

○事業実施に至るまでの勉強・目的達成検証

○事業推進体制

⇒事業計画・実施：香川ブロック協議会

⇒参加対象・推進：香川県・各市・障害者・障害者支援団体・県内プロスポーツ団体

日本障害者スポーツ協会

⇒事業連携：（公社）日本青年会議所 スポーツ振興支援委員会との連携

（参考）三菱電機Going Upキャンペーン：障害者スポーツの普及・啓発に寄与するとともに、「活力ある共生社会の創造」への運動

<http://www.mitsubishielectric.co.jp/goingup/>

⇒事業後援・協力 : 香川県障害者スポーツ協会 <http://kagawa-syosupo.net/>

・高松市 ・かがわ総合リハビリテーションセンター

⇒参加対象者 : 一般参加者 : 100名+香川ブロック協議会メンバー239名

#### 5.3.4 Check (検証)

⇒スポーツを通して、参加者が夢や希望を持てたのか検証

⇒参加者・協力関係者・JCメンバーにアンケート調査し、目的達成の検証

⇒ユニバーサルマナー検定受講し、私たちの住むまちが高齢者や障害者、ベビーカー利用者、外国人を含め多様な方々にとって、道路・建物・駅・競技場・様々な表示等において適正かどうか検証し、行政の障害福祉課関係へ提言する。

#### 5.3.4 Act (改善)

⇒検証した点を報告書としてまとめ、事業計画審議後からの行動計画を明細に明記し、それに付随する資料を添付し、事業案内・事業PR・事業準備・事業予算・事業写真・進行関係資料を全て報告書としてまとめ、誰もが次に繋げられるような事業報告書を作成する。

## 5.4 目標④ 国際的な視野を醸成し、世界平和へ寄与できるリーダーの育成

---

### 5.4.1 Plan (計画) ⇒ UN SDGs 啓発運動の実施

本会のLOM重点依頼事項であるUN SDGsの達成に向けた運動の推進において、国内において、UN SDGsの達成に向けた運動を取り組まれている関係団体や国際貢献されている人から国連をはじめ、世界中で取り組んでいるUN SDGsについて学びの場を通し、地域の人へ幅広くUN SDGsの啓発運動を取り組むことで、認知度を高め、国際的な視野をもった人を増やし、世界平和に寄与できるリーダーを育成することへと繋げて参ります。また、啓発活動とともに募金活動も同時に行い、募金金額は、本会のUN SDGsへ寄付し、目標達成の機運を高めます。

#### ○ UN SDGsの啓発運動の事業企画・実施

2017年10月～12月 : 本年度との引継ぎ・事業構想計画立案

2018年 2月(協議)・3月(審議)・4月(事業案内・事業PR・事業準備)

5月～10月(事業開催)

11月(事業御礼・決算・検証・事業報告)

○ KPIの目標値(セミナー実施回数 : 3回・UN SDGs募金目標金額 : 30万)

#### 5.4.2 D o (実行)

- 国際協力・国際貢献に関わる団体と連携を図り、UN SDGsを分かりやすく理解し、UN SDGsの認知度向上、啓発を行い、幅広く発信するために専門家諸団体と繋がりをもつ。
- UN SDGs啓発セミナーを行い、国際問題に対し理解を深める。そして、募金活動を通して協力者との繋がりを深め、UNSDGsの啓発運動に気運を高める

#### ○事業推進体制

- ⇒事業計画・実施：香川ブロック協議会
- ⇒参加対象・推進：人財育成委員会
- ⇒事業連携：（公社）日本青年会議所 国際グループUN関係委員会・香川県ユニセフ香川
- ⇒参加対象者：県内LOMメンバー ・ 一般参加者

#### 5.4.3 C h e c k (検証)

- ⇒セミナー受講者へアンケート調査し、検証を行う。
- ⇒実施した事業が地域及びブロック協議会メンバーにとって有益なものであったのか、アンケート実施により事業の成果の検証を行う。
- ⇒セミナー（勉強会）の内容をグラフィックノートにして、HPやSNSで幅広く発信して啓発し検証する。

#### 5.4.4 A c t (改善)

- ⇒アンケート調査及び募金金額によりHPやSNSにて幅広く発信

### 5.5 目標⑤ 人財育成による会員拡大支援

---

#### 5.5.1 P l a n (計画) ⇒

##### 会員の資質向上のためのセミナー・交流会（アカデミー事業）の実施による会員拡大支援

2017年10月～12月：本年度との引継ぎ・事業構想計画立案

2018年2月 6 LOM合同例会にてアカデミー事業実施の案内（開催日時・場所）

2018年 1月（年間セミナー内容（6回開催）・開催日時・場所・行程スケジュール作成）

2月（協議）・3月（審議）4月（実施①）5月（実施②）6月（実施③）

8月（実施④）9月（実施⑤）10月（実施⑥）

11月（事業報告・決算・検証・次年度引継ぎ）



⇒各 L O M 拡大目標人数ヒアリング調査

香川ブロック協議会 各LOM 会員数推移									作成日：2017年9月21日		
LOM 名	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年期首	拡大目標人数	⇒⇒⇒	2022年
東かがわ青年会議所	30	30	26	23	25	25	22	23	10	⇒⇒⇒	
小豆島青年会議所	24	26	29	31	26	30	39	33	5	⇒⇒⇒	
高松青年会議所	100	107	99	101	105	95	87	80	40	⇒⇒⇒	
坂出青年会議所	34	32	30	43	43	42	39	38	15	⇒⇒⇒	
さぬき青年会議所	48	51	44	39	38	35	43	50	16	⇒⇒⇒	
みとよ青年会議所	51	36	30	27	30	28	16	15	10	⇒⇒⇒	
香川ブロック全体	287	282	258	264	267	255	246	239	96	⇒⇒⇒	280
※2011、2014、2015年は日本青年会議所会頭選挙時の会員数											
※2012、2013年は日本青年会議所基本資料掲載の年初会員数											
※2016は、年初会員数											
※2017は、香川ブロック大会開催前の会員数											

⇒K P I 目標数値（2018年12月末迄）

香川ブロック協議会 会員総数：288名達成目標（20%増）

5.5.2D。（実行）

○会員資質向上を目的としたセミナー&交流会を3月～10月までに6回開催し、香川ブロック協議会内の各地会員会議所へ案内し、各LOMの会員拡大の支援・入会候補者との交流の場及び青年会議所の運動・魅力の発信の場とする

○事業推進体制

⇒事業計画・実施：香川ブロック協議会

⇒参加対象・推進：県内会員会議所メンバー・入会候補者

⇒事業連携：県内各地会員会議所 会員拡大担当者

⇒参加対象者：県内会員会議所メンバー・一般参加者・入会候補者

○事業参加目標達成指標 K P I 参加率

⇒2018年 参加率：各会セミナー・交流会 60名（一般参加者&JCメンバー）

⇒参加推進・案内について：各LOMの拡大担当者と連携し、情報共有とアカデミー事業の開催日の連絡・案内を徹底する。各LOMより入会候補者を必ず各アカデミー事業において、最低3名の参加をお願いする。

●参加推進方法：K P I 60名／各アカデミー事業

入会候補者（3名）＋紹介メンバー（3名）＋メンバー（4名）＊6LOM＝60名

●3月審議時には、全実施日時の各LOMへの案内文作成と周知を行い、案内文の送付する

### 5.5.3 Check (検証)

⇒●事業案内について●セミナー内容●開催時期・場所●交流会の設営・進行について

●入会候補者への対応・フォローについて事業担当者と事業参加者とヒアリングを行い、  
検証し、次回のセミナー設営に生かす。

⇒各会セミナー・交流会についてブロックのHP・SNSにおいて、

即時報告し、各LOMの拡大担当者とともに入会候補者へのフォローを行うと同時に各LOMの  
会員拡大の現状進捗報告を情報共有する。

### 5.5.4 Act (改善)

⇒入会候補者+紹介者+メンバーからのアンケート調査結果から次回へ改善点を反映する

⇒検証した点を報告書としてまとめ、事業計画審議後からの行動計画を明細に明記し、それに付随する  
資料を添付し、事業案内・事業PR・事業準備・事業予算・事業写真・進行関係資料を全て報告  
書としてまとめ、誰もが次に繋がられるような事業報告書を作成する。

⇒各セミナー・交流会の報告を随時発信し、青年会議所の魅力を幅広く発信

## 5.6 課題⑥ 各地会員会議所メンバーとの連携及び結束力の強化

---

### 5.6.1 Plan (計画) ⇒ 香川ブロック大会小豆島大会の実施

○ (事業目的)

- ・地域の魅力を体感し、幅広く発信し地域ブランド確立へ繋げる
- ・会員の資質向上を図り、青年会議所活動への意識の高揚
- ・事業構築・実施による地域市民・協力者との繋がりを深め、地域との繋がりの強化
- ・会員同士の繋がり・友情を深め、結束力の向上

○香川ブロック大会小豆島大会の式典・記念事業の企画・実施

2017年10月～12月：本年度との引継ぎ・過去のブロック大会の検証

：PR活動スケジュール・事業構想計画立案

2018年 2月 (討議) ・ 3月 (協議) ・ 4月 (審議) 5月 (案内・事業PR)

6月 (案内・事業PR・出欠確認・事業準備)

7月1日 実施開催 ・ 8月 (事業御礼・決算・検証) 9月 (事業報告・決算)

### 5.6.2 D o (実行)

#### ○香川ブロック大会小豆島大会の式典

- ⇒早い段階での式典事業計画の上程・各地会員会議所内でのPR・周知の徹底
- ⇒魅力あるブロック大会記念事業を企画・実施することにより会員の自己成長に繋げる

#### ○事業推進体制

- ⇒事業計画・実施：香川ブロック協議会
- ⇒参加対象・推進：県内会員会議所メンバー
- ⇒事業連携：（公社）小豆島青年会議所
- ⇒参加対象者：県内会員会議所メンバー・一般参加者・入会候補者

#### ○事業参加目標達成指標 K P I 参加率

- ⇒2016年 参加率：62%（165名／265名）
- ⇒2017年 参加率：90%（225名／246名）
- ⇒2018年 参加率：90%（216名／239名）

### 5.6.3 C h e c k (検証)

#### ⇒参加メンバー及び事業関係者からのアンケート調査

⇒式典案内に関しては、案内周知後、早急な出欠確認を行い、出席率向上にむけての対策後、開催前・前日・当日の出欠確認を徹底し、一人でも多い参加に繋げる

⇒実施した事業が地域及びブロック協議会メンバーにとって有益なものであったのか、アンケート実施により事業成果の検証を行う。

⇒式典において、次年度ブロック会長の発表・次年度ブロック大会開催地の発表を次年度主催者側の想いのこもった演出やメンバーの意識が高揚する場としての設営がしっかりとされたのか、参加したメンバーの声をヒアリングし、計画通りに実施できていたかどうかの検証をはじめ、次年度引継ぎ点などをしっかりと報告書としてまとめ、事業報告とする。

### 5.6.4 A c t (改善)

⇒検証した点を報告書としてまとめ、事業計画審議後からの行動計画を明細に明記し、それに付随する資料を添付し、事業案内・事業PR・事業準備・事業予算・事業写真・進行関係資料を全て報告書としてまとめ、誰もが次に繋がられるような事業報告書を作成する。

## 5.7 課題⑦ 災害支援ネットワークの強化

---

### 5.7.1 Plan（計画）⇒ 災害支援ネットワークの強化

災害発災時における迅速且つ的確な支援を行うために、県内や社会福祉協議会をはじめ、民間事業者と広域相互支援体制の構築による連携を図り、災害支援ネットワークを強化する

（事業計画スケジュール）

2017年10月～12月：前年度からの引継・2015年度版JC香川ブロック災害支援ネットワークの改訂検討

2018年 1月～4月：・PDCAサイクルを導入した防災活動の実践を学び、災害支援ネットワーク構築に活かす

・災害支援ネットワークの構築・関係者との連絡調整

5月～ 6月：災害支援ネットワークの刷新・7月（進捗検証）

8月～10月：災害支援ネットワークの発信・11月12月（引継）

### 5.7.2 Do（実行）

○JC香川ブロック災害支援ネットワーク総合資料集の改訂

○事業体系・組織づくり

⇒事業計画・実施：香川ブロック協議会

⇒参加対象・推進：県内会員会議所メンバー

⇒事業連携：各地会員会議所・香川県・各市町・社会福祉協議会・民間事業者

⇒参加対象者：県内会員会議所メンバー・一般参加者

○災害支援ネットワークの強化・発信

※香川県・災害時の広域応援に関する協定書

（参考）都道府県相互の広域応援体制について

<http://www.pref.miyagi.jp/uploaded/attachment/36157.pdf>

（参考）香川県地域防災計画・参考資料

[http://www.pref.kagawa.jp/bosai/bousaikeikaku/4siryou/siryou\\_hyousi.pdf](http://www.pref.kagawa.jp/bosai/bousaikeikaku/4siryou/siryou_hyousi.pdf)

○災害についての対策・知識の向上について

・防災活動を中心とした地域おこし活動をしている岩崎正朔氏による勉強会

・ P D C A サイクルを導入した防災活動を実施し「防災」をまちづくりを行い、自主防災組織の結成促進や機能強化を図る運動をしている人から広域相互支援体制の構築と連携について学ぶ

(参考)

<https://bosaijapan.jp/people/%E5%B2%A9%EF%A8%91%E6%AD%A3%E6%9C%94%EF%BC%88%E3%81%84%E3%82%8F%E3%81%95%E3%81%8D%E3%83%BB%E3%81%9B%E3%81%84%E3%81%95%E3%81%8F%EF%BC%89/>

※災害発災時の支援・防災対策の情報発信を香川ブロック協議会HP・SNS等で発信

(参考) かがわ防災WEBポータル <http://www.bousai-kagawa.jp/>

(参考) 香川県 総合防災訓練 [https://www.youtube.com/watch?v=BLpTuB\\_SasI](https://www.youtube.com/watch?v=BLpTuB_SasI)

(参考) 香川県 南海トラフ(最大クラス)に関する県民向けDVD

<https://www.youtube.com/watch?v=rc7e2JWGlxA>

### 5.7.3 C h e c k (検証)

⇒災害支援ネットワーク総合資料集の活用頻度と各地会員会議所メンバーの理解度の把握

⇒災害発災時における連絡調整や支援ネットワークを活用した仮模擬練習の実施

⇒広域相互支援体制の連携する方々とのヒアリング

### 5.7.4 A c t (改善)

⇒広域相互支援体制の連携する方々とのヒアリング結果の検証

⇒香川ブロック協議会のHPにて検証結果報告と支援体制についての連携体制と正しい行動規範の発信

## 5.8 課題⑧ 政治参画教育の推進・公開討論会の実施

---

### 5.8.1 P l a n (計画) ⇒

(事業計画スケジュール)

2017年10月～12月：・2017年度の真の日本人育成委員会との引継ぎ

・日本JC 憲法改正推進委員会(黒川 明委員長)との連携による討論会の勉強会実施のスケジュール調整(連絡調整)

・政治教育の勉強会実施の

◎内容・展開方法・協力者・発信方法・の検討

2018年 1月～2月：議案作成(政治参画教育の勉強)

3月～4月：日本JCによる討論会実施の勉強会実施・政治教育プログラムの実施

5月～10月：政治参画教育の実施・情報発信

8月：香川県知事選 公開討論会 実施

10月～11月：事業報告 引継ぎ

(参考) 香川県選挙管理委員会HP 任期満了日

<http://www.pref.kagawa.jp/senkyoi/ninki/ninki.pdf>

(検討案) 日の丸チャリティーラン(2017)実施の事業内容検証・実施検討(2018)

香川共生社会創造委員会との連携も検討

(参考) 日本JC 日の丸チャリティーラン <http://www.jaycee.or.jp/2017/hokushinetsu/?p=463>

### 5.8.2 D○(実行)

#### ○政治教育の推進

##### ●次世代教育確立委員会(平野謙吾委員長)との連携による勉強

1月～3月 次世代教育確立委員会との連携及び勉強

1月～3月 憲法改正推進委員会(黒川 明委員長)との連携による討論会の勉強

・「みらいく」子供向け主権者教育プログラム及びネット討論会・公開討論会のやり方を勉強

⇒学生・市民向けの政治教育の実施

⇒香川ブロック協議会HP・SNSを活用し政治参画意識を高め、政治への関心を深める。

(参考) 政治参画FB <https://www.facebook.com/pg/seijisankaku/posts/>

#### ○公開討論会の実施

⇒1月～3月 憲法改正推進委員会(黒川 明委員長)との連携による討論会の勉強

・討議会の手法を学ぶ

⇒香川県知事選 公開討論会の実施(平成30年8月)

#### 【前回の香川県知事選挙】

任期満了に伴う香川県知事選は、現職で再選を目指す浜田恵造氏(62)＝自民、公明、社民推薦＝と新人で共産党県委員会書記長の河村整氏(55)＝共産推薦＝の無所属2氏が立候補。

##### ●香川県知事選挙(2014年8月31日投票)投票結果

[告示日] 2014年8月14日 [投票日] 2014年8月31日

[有権者数(人)] 814,209 [投票率(%)] 33.6%

[執行理由] 任期満了 [定数 / 候補者数] 1 / 2

現職の浜田恵造氏(香川県知事) 223,846票

河村 整氏(日本共産党職員) 44,023票

により浜田恵造氏の当選。

※香川ブロック協議会が両氏の主張を紹介する動画のネット配信

※香川県選管は、有権者に投票を呼び掛けるポスターやチラシなどの啓発資材を公開し啓発メインキャラクターに、うどん県副知事としても活躍する俳優・要潤さん(三豊市出身)を起用し「僕の上司を選んでください。」というユニークなキャッチコピーで、投票率アップを図るが、投票率は33%となった。

### 5.8.3 Check (検証)

⇒政治教育参加者へのアンケート調査・香川ブロック協議会HP閲覧数・SNS閲覧数の検証

⇒公開討論会参加者へのアンケート調査

公開討論会の情報発信による香川ブロック協議会HP閲覧数・SNS閲覧数の検証

⇒投票率の検証

### 5.8.4 Act (改善)

⇒政治教育の事業報告書作成し、メディアとの連携を図り、市民に情報発信と関心を深める

⇒公開討論会実施後の次年度への検証をしっかりと行う

## 6 アクションプラン

### 6.1 ブロック協議会の目標達成に向けた行動計画

#### 6.1 ブロック協議会の役割

香川ブロック協議会は、日本青年会議所本会の池田会頭所信のもと、本会の方向性と方針をしっかりと各地会員会議所に伝え、運動の発信及び展開に繋がるように毎月の本会の理事会報告及びブロック協議会の勉強会の報告をすみやかに行うことで各地会員会議所との連携を密にし、ブロック協議会が展開する総合戦略をもとにした事業計画の運動及び各地会員会議所の運動が香川県の発展に繋がるように支援して参ります。

⇒香川ブロック協議会 推進委員会体制

- ① 地域ブランド確立委員会
- ② 香川共生社会創造委員会
- ③ 人財育成委員会
- ④ 地域再興委員会
- ⑤ 香川ブロック大会実行委員会

## **6.2 香川ブロック協議会 推進委員会の目標**

---

- ① 地域の魅力発信委員会
  - 地域の魅力発信
  - 6 L O M合同例会（式典・事業：90%参加）
  - 運動・事業の最新の情報を随時掲載
- ② 香川の共生社会創造委員会
  - スポーツ振興を通して子供や若者に夢や希望を与える
  - スポーツによる地域間連携の強化と共生社会の実現
- ③ 地域再興委員会
  - 政治教育の機会を通じた主権者意識の確立
  - 災害支援ネットワークの強化
- ④ 人財育成委員会
  - UN SDGs啓発運動の推進
  - 国際的な視野をもったリーダーの育成
  - 会員の資質向上を目的としたアカデミー事業実施による会員拡大の支援
  - 「和」の精神性からなる自己修練を通じた自己成長
- ⑤ 香川ブロック大会実行委員会
  - 会員の資質向上と成長
  - 県内会員会議所メンバーの密なる連携と結束力の強化

## **6.3 香川ブロック協議会 推進委員会の行動**

---

- ① 地域ブランド確立委員会



行動 1. 地域ブランドの確立の企画・実施

行動 2. 6 L O M合同例会（式典・事業）の企画・実施

行動 3. 香川ブロック協議会 H P の企画・運営

#### ②香川共生社会創造委員会

行動 4. J C カップ U - 1 1 少年少女サッカー大会 香川予選大会の実施【地区推】

行動 5. みんなの N I P P O N 共生社会プロジェクトの企画・実施

行動 6. 祖先や親を敬い愛情溢れる「家」的徳を育む事業

#### ③人財育成委員会

行動 9. U N S D G s 啓発運動の推進

行動 1 0. 会員拡大支援及び人財育成の企画・実施

行動 1 1. 奇跡を起こす人財を育てるカリキュラム実施【プロ推】

#### ④地域再興委員会

行動 7. 改憲を推進する教育事業の企画・実施【プロ連】

行動 8. 災害支援ネットワークの強化【プロ連】

#### ⑤ブロック大会実行委員会

行動 1 2. 香川ブロック大会 小豆島大会式典の企画・実施

行動 1 3. 香川ブロック大会 小豆島大会事業の企画・実施

**【各委員会議案上程スケジュール（案）】**

議案上程スケジュール(案)															ver.02		
委員会名	事業名	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
地域ブランド確立委員会	6LOM 合同例会事業	引継	協議	審議		開催		報告								引継	
地域ブランド確立委員会	香川BLHP作成・運営事業 (地域の魅力発信)	引継	協議	審議	運営											報告	
香川共生社会創造委員会	JCカップ香川予選大会事業	引継	引継	引継				討議	協議	審議		開催		報告		引継	
香川共生社会創造委員会	みんなの共生社会事業	事業構築			ユニバーサルマナー受講		討議	協議	審議			開催(8月か9月)		報告		引継	
人財育成委員会	UNSDG s 啓発事業	引継	引継	引継	討議	協議	審議	開催								報告	引継
人財育成委員会	人財育成・拡大支援事業	引継	引継	討議	協議	審議	開催								報告	引継	
地域再興委員会	改憲(政治教育)事業	引継	引継	引継	討議	協議	審議	開催								報告	引継
地域再興委員会	公開討論会 実施	引継	引継	引継	事業構築・勉強会			討議	協議	審議		開催			報告	引継	
地域再興委員会	防災マニュアル改訂 広域連携体制構築・連携	引継	引継	討議	協議	審議	連携								報告	引継	
香川ブロック大会実行委員会	2018年度第48回香川ブロック大会 スローガン(案)並びにPR(案)	引継	引継	討議	協議	審議	PR実施				開催		報告			引継	
香川ブロック大会実行委員会	香川ブロック大会式典						討議	協議	審議		開催		報告			引継	
香川ブロック大会実行委員会	香川ブロック大会記念事業						討議	協議	審議		開催		報告			引継	
運営専務・事務局長	2019年度選挙管理委員会 委員選定(案)承認の件							審議									
運営専務	香川BL協議会2019年度会 長候補者選出								審議								
運営専務	2019年度香川BL大会主管 LOM 選出								審議								
国連少年少女大使	募集・参加										開催						
国際アカデミー	募集・参加										開催						
日本アカデミー	募集・参加																
金沢会議	参加					開催											

## 6.4 香川ブロック協議会 1年後の姿

全ての機会に対し「和」の精神をもつ多くの会員と共に、志立て覚悟をもってあらゆることに挑戦し続けます。魅力ある地域の魅力を幅広く国内外に発信することにより地域経済を活性化させます。そして、自らの強い意志で地域の様々な課題に取り組み、公に行動できるリーダーとなることで、多くの仲間を増やし、結束力を強化した私たちが、挑戦と「和」の精神による愛と希望溢れる香川の創造を実現します。

以上